



市保連 だより

2023
(1月)

[第521号]

令和5年1月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

調査広報委員会

委員長 今村 弘之
委員 宇治 正信 緒方 隼人
沖田 照生 角田 信也
豊田 亮

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2階
TEL(096)322-0096

第47回熊本市保育園連盟体育祭



11月12日(土)熊本県民総合運動公園C多目的グラウンドにて第47回熊本市保育園連盟体育祭が開催されました。

開会式では、体育祭実行委員会副会長の岩男副理事長の開会宣言により、体育祭が

開会しました。開会式の中では、上野理事長の主催者挨拶、多数の来賓の方々にもご参加いただきました。来賓祝辞では、大西一史市長代理の健康福祉局長津田様、熊本市議会厚生委員会委員長の浜田様、熊本県選出の国会議員の皆様にお祝いの言葉をいただきました。

選手宣誓では北部ブロックはけみや保育園の田端先生より選手宣誓があり、競技場の注意、準備体操を行い、競技に入っていました。



ベストマッチング競争、縄跳び耐久レース、玉入れ競争、ノーサイドゲーム、○×ゲーム、ブロック対抗リレーの競技がありました。3年ぶりの体育祭の開催に「久しぶりに皆で楽しむことができた。」「学生時代の同級生と再会することができた。」等、それぞれに体育祭を楽しむ様子が印象的でした。

優勝は東部ブロック、2位北部ブロック、3位南部ブロック、4位西部ブロック、5位中央ブロックとなりました。沢山の笑顔が溢れる体育祭となり、会員の皆さんの親睦に

なったのではないのでしょうか。実行委員の先生方、参加された皆様にご感謝いたしますとともに、ご協力をいただきました園長先生方に厚くお礼申し上げます。今後も当連盟の福利厚生事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



こどもと共に育ち合う モロナイ保育園 保育教諭10年目



3, 4, 5 歳児と持ち上がりの担任をしたこどもたちの最近の育ちをお伝えします。5 歳児は地域の方に協力してもらい、田植えから稲刈りまでの稲作体験を行っています。クラスから田んぼを見渡すことができ、

稲の成長を観察してきました。今日はいよいよ待ちに待った稲刈りの日です。稲刈りに出発する前に「今日は稲の束を

負うよ」と子どもたちに話をしました。耳慣れない負うという言葉に子どもたちの頭は??でいっぱいです。「『おう』って何?」「追いかけるって

こと?」「お、お、折る?とか?」と話し合っていました。稲刈りを終え、刈り取った稲の束を

「よいしょ」と大きな声を出しながら背負って

見せていました。その後ろ姿を見ていた子どもたちの間に「あー! おんぶだ!」「稲の束をおんぶするんだ」と気づいたようです。そして、分かった

ことをお友だちと共感していました。こんなことの繰り返しの毎日で子どもは遊びや活動の中でびっくりや感動、発見をしながら仲間と育っていく。そんな日々を近くで見守ることのできるこの仕事が私は大好きです。



この仕事について良かったと思うこと なないろこども園 保育士1年目



私は小学生のころから「保育士になりたい」という夢を持っていました。まずはこの長年の夢を叶えられたことを誇りに思っています。この仕事をしていると、何か嫌なことがあっても子どもたちと関わっている時間だけは忘れることができます。子どもたちの笑顔に日々癒されることがこの仕事の一番の魅力だと思います。そして、私が一番やりがいを感じるのは子どもたちと「信頼関係ができているな」と感じた時です。信頼関係というのはこの仕事を始める際に不安だったことの一つです。「信頼関係はどうやって作っていけばいいのだろう」ととても不安でした。しかし、子どもたちが自分の名前を呼んで

くれたり、「せんせいだいきすき!」と言ってくれた時に初めて「信頼関係ができているのかな」と感じることができました。また、私が勤めている園は私の通っていた園です。私を育てて下さった先生方と働けることをとても誇りに思っています。これからも子どもたちにたくさん元気をもらいながら、この仕事に誇りをもって毎日を過ごしていきたいです。



この仕事に就いて良かったこと つくし保育園 保育士 1年目



私がこの仕事に就いて良かったと思うことは、子どもの笑顔に毎日会えることと子どもの成長を近くで見届けることができることです。しかし、子どもたちの想いをうまく読み取ることができず、子どもたちにしっかりと寄り添えていないこともあり、信頼関係の構築の難しさを日々感じています。それでも毎朝、出勤すると「おはよう！」と子どもたちが駆け寄って来てくれたり、「だいすき」と抱きついてくれた時は「私を必要としてくれているんだ」と感じさせてくれます。また、日々成長する子どもの姿を間近で見て、援助方法や言葉かけのやり方一つで、子どもたちのやる気を引き出すか引き



出さないかが変わり、保育に正解はないからこそ保育の奥の深さを日々痛感しています。毎日反省することも、子どもたちから学ばせてもらうことも沢山ありますが、子どもの前では笑顔を絶やさないとをモットーに子どもたちと一緒に成長していきたいと思います。



保育士になって良かったこと ひかり幼稚園 保育士11年目



保育士となり、いつの間にか 11 年が過ぎました。今年は 3 歳児を担当しています。子どもたちは毎日、笑って、泣いて、けんかもして、ちょっと落ち込んでみたりと大忙しです。そんな子どもたちと同じ時間を過ごす中で生まれる信頼関係の中で、ふとした瞬間に心が通じていることを感じたり、小さな成長に気づいたり、嬉しい！楽しい！と感じる時、この仕事をしていてよかったなと思います。



戸外遊びの前の体操の時間。ピアノを弾き始めると、いつの間にかみんなで歌っているとき。お気に入りの絵本「こんがらがったい」を再現して大笑いするとき。小さな手を胸に当ててお祈りをする姿を見守るとき。「また

明日ね」と挨拶をするとき。何でもないような一日も、確実に明日へ、未来へつながる大切な一日であることを心にとめ、日々を積み重ねていけたらと思います。疲れをも吹き飛ばしてくれる魔法の力を持っていると思います。

ぷち得情報



日常生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたいくなるようなものを集めてみました。皆さんでご覧ください。

校区単位の健康まちづくり

校区単位の健康まちづくりとは？

「全ての市民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちを市民と協働でつくる。」という目標のもと、熊本市のこちらのHPでは、各区の目標や小学校区ごとの人口構成と将来推計、出生率等の校区健康カルテを見ることができます。



是非お住まいの校区の情報をご覧ください。



1月の予定

理事会	1月11日(水)	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室
冬の自然楽校	1月15日(日)	立田山野外保育センター (雑草の森)
園長会	1月24日(火)	KKR ホテル熊本
第1回 雑草の森感謝祭	1月29日(日)	立田山野外保育センター (雑草の森)

